

## 社会科（地理的分野）学習指導案

日 時： 平成26年10月10日（金）

14:10～15:00

クラス： 1年3組（男11名 女子14名）

授業者： 教諭 藤川 敦

1 単 元 北アメリカ州 ―さかんな農業や工業の特色―

2 単元について

### （1）生徒観

生徒達は、これまでに地理的分野において、世界のすがた、世界の各地の人々の生活と環境について学習してきた。これまでの学習では、地図や統計を有効に活用して、事象を説明したり、論述したりする活動を行おうとする生徒が多い。一方少数ではあるが、友達の前で説明したりすることが苦手な生徒もいる。そこで、ペアや小グループによる学習形態を工夫することで、生徒同士がお互いに助け合いながら、自分の考えを述べたりする学び合い活動を取り入れていく必要がある。また、本単元で学習するアメリカ合衆国については、マスコミを通じてたくさんの情報が伝えられているために、生徒の知識はどちらかといえば豊富といってもよい。しかし、その内容はスポーツや芸能、バラエティ番組から得た断片的な知識が中心で、産業の特色や歴史、諸問題等については知識が乏しい。そこで、多様な資料を提示し、多面的・多角的に考察させることで、北アメリカ州の地域的特色をつかませる学習活動を展開していく必要がある。

### （2）単元観

本単元は、中学校学習指導要領の地理的分野の「内容（1）世界の様々な地域（ウ）世界の諸地域」にあたり、世界の諸地域について、各州に暮らす人々の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基に主題を設けて、それぞれの州の特色を理解させることを主なねらいとしている。それぞれの州を理解させるには、最初に基礎的・基本的な知識を習得する学習を行い、それらの知識を活用して、生徒達の生活に結び付く地理的事象を取り上げ、生徒の関心と結び付きやすい課題を設定し、追究する中で、地理的特色が明らかになるように学習を展開していくことが大切である。

北アメリカ州は、北アメリカと大陸と西インド諸島から構成され、赤道から北極付近まで広い範囲にまたがっており、広大な自然と地域毎に異なる気候がみられる。また、多くの民族が生活するという特色を持っている。北アメリカ州の人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基に課題を設け地域的特色を理解させるため、その代表する国としてアメリカ合衆国を選択した。それは、アメリカという国が生徒にとってもなじみの深い国であり、日本とは異なる様々な特徴をもつからである。

アメリカ合衆国は世界第3位の国土面積を持ち、様々な地理的事象が見られる。多様な気候帯や自然環境が人口の分布や農業に大きく影響している。「適地適作」農業が大規模かつ企業的に営まれ世界有数の食料輸出国としてアメリカ産の農作物は日本をはじめ多くの国々に輸出されている。工業を見ると、アメリカ合衆国は多くの鉱産資源を有し世界有数の工業国である。自動車産業、航空・宇宙産業、コンピューター産業など、近年絶対的優位性は揺らいではいるが、世界生産の上位に位置するとともに高い科学技術で工業を発展させている。

そこで、本単元では、北アメリカの地域的特色をアメリカ合衆国のさかんな産業について学習することを主題として、単元を構成することにした。

(3) 指導観

指導にあたっては、視聴覚機器による資料の提示や、資料の読み取りやそれを基にして考える活動において、小グループでの活動を取り入れ、その活動の過程で、自分の考えを表現し、他者の考えを知ることにより、自分の考えを明らかにしたり、深めさせたりしていきたい。このような学習活動を通して、思考力・判断力・表現力を高めていきたい。

3 単元目標

- (1) 北アメリカ州に関心を持ち、地図や統計、その他の資料を通して、その地域的特色をとらえようと意欲的に調べようとしている。 【社会的事象への関心・意欲・態度】
- (2) 北アメリカ州の地理的事象を、位置や空間的な広がりにとらえ、環境条件や他地域とのつながり、人々との営みと関連付けて考え、適切に表現することができる。 【社会的な思考・判断・表現】
- (3) 北アメリカ州の特色をとらえさせるために、地図や統計などを適切に読み取り、調べたことを文章や地図などにまとめることができる。 【資料活用の技能】
- (4) 北アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などに関する基礎的・基本的な知識を理解することができる。 【社会的な事象の知識・理解】

4 単元の評価規準

ア：社会的事象への関心・意欲・態度	イ：社会的な思考・判断・表現	ウ：資料活用の技能	エ：社会的な事象についての知識・理解
1 北アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、特にアメリカ合衆国の産業に関心を持ち、設定された学習課題を意欲的に追究している。 2 日本にも広がるショッピングセンターやファストフード、身の回りに多く見られる輸入品など、世界に広がるアメリカ文化に関心を持とうとしている。	1 北アメリカ州，特にアメリカ合衆国の産業が発達している理由について，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 2 北アメリカ州の産業が発達している様子を，アメリカ合衆国の農業や工業，生活・文化の観点から考察している。	1 北アメリカ州，特にアメリカ合衆国の大規模で合理的な農業の特色や，巨大な工業生産力の様子について，主題図や写真などの資料を適切に読み取っている。 2 北アメリカ州の地域的特色について複数の資料を適切に選択して，それを基に読み取っている。	1 北アメリカ州について，大陸と島々からなる自然環境，新しい文化，産業と経済の地域差などの特色を概観し，それぞれの基礎的・基本的な知識を理解している。 2 北アメリカ州について，「アメリカ合衆国を中心とした産業の発達」の学習テーマを基に地域的特色を理解し，その知識を身に付けている。

5 指導と評価の計画（5時間扱い）

時間	○ねらい ・ 学習活動	単元の評価規準	評価方法
1	○北アメリカの雨温図，分布図，写真などの資料から，自然，文化，産業の特色について概観し，基礎的・基本的な知識を身に付ける。	エ 1	後日 ペーパーテスト

	○北アメリカの地域的特色を理解するために、「アメリカ合衆国ではどのような産業がさかんなのだろうか。」という学習課題を設定する。 ・資料をもとに単元の学習課題を設定する。	ア 1	活動の観察
2	○アメリカの大規模で合理的な農業の特色を、写真、グラフ、分布図などから読み取る。 ○アメリカが多様な農産物を大量に生産できる理由を、気候、生産方法、経営者のそれぞれの視点から考察する。 ・資料からアメリカ合衆国の農業の特色をとらえ、多様な農産物を生産できる理由を説明する。	ウ 1 イ 1	活動の観察 後日 ペーパーテスト
3 本時	○アメリカで発展してきた重工業や先端技術を用いた工業の特色を、写真、グラフ、分布図などから読み取る。 ・アメリカの工業の変化を資料からよみとりまとめる。 ○アメリカの工業は、広大な国土と豊かな資源に加えて、ヨーロッパやアジアからの移民の存在によって発展してきたことを考察する。 ・移民が工業の発展に果たした役割について考える。	ウ 1 イ 2	活動の観察 後日 ペーパーテスト
4	○アメリカの生活・文化が、世界の国々に与えている影響について関心を持つ。 ・アメリカについて知っていることを出し合う。 ○「北アメリカでは、どのような産業がさかんなのでしょう。特に、世界の超大国アメリカに注目して考えてみましょう」という学習テーマの答えを農業と工業を中心に考察する。 ・北アメリカについてこれまでの学習をふりかえりまとめる。	ア 2 ウ 2 エ 2	活動の観察 後日 ペーパーテスト

## 6 本時の学習

### (1) 本時のねらい

アメリカで発展してきた重工業や先端技術を用いた工業の特色を、写真、グラフ、分布図などから読み取り、その特色を自分のことばで表現することができる。

### (2) 研究主題との関わり

#### 【視点1】明確な学習課題の提示

資料を活用し、生徒の視点から課題を導きだすことによって、学習課題を生徒自身が追究していこうとする関心・意欲を高める。

#### 【視点2】学び合いを通して、思考力・判断力・表現力を高める授業づくり

学習課題を追究するために、資料の読み取りの時間を十分に確保する。その後、個人で読み取った社会的事象を小グループで交流しあい、さらに全体で交流しあう。そのことによって、多様な見方、考え方に気づかせる。さらに終末の場面で、学習課題に対するまとめを自分のことばで書くことによって、思考力・判断力・表現力の育成を図る。

(3) 展 開

過程	学習活動・学習内容・《形態》	指導上の留意点 ☆思考力・判断力・表現力を高める指導 ★学び合い[視点2]
導入 10分	<p>1 既習事項の確認 アメリカの主な工業製品を確認し、アメリカが世界有数の工業国であることを確認する。</p> <p>2 学習課題の設定 アメリカの地域別工業生産額の割合の変化のグラフから学習課題を設定する。</p> <p>3 学習課題の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">アメリカの工業はどのように発達したのだろうか。</div>	<p>資料「アメリカの工業製品」 資料「アメリカの地域別工業生産額の割合の変化」</p> <p>・アメリカの地域別工業生産額の割合の変化から、地域毎の変化の違いに着目させ、課題を設定させたい。</p> <p>〈明確な学習課題の提示[視点1]〉</p>
展開 30分	<p>4 学習課題について予想を立てる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初は豊富な資源をもとに鉄鋼業などが発達した。</li> <li>・情報化社会になり、コンピューターなどが発達した。</li> </ul> </div> <p>5 学習課題の追究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工業生産の割合が特に変化している地域を中心に工業地域の特色を調べることを確認する。</li> </ul> <p>(1) 地域ごとの盛んな工業や、その発達した理由を各自で調べる。 《個人》</p> <p>(2) 調べたことを小グループで交流しあい、アメリカの工業の変化を整理する。 《小グループ》</p> <p>(3) 小グループで交流したことを全体で交流しあう。 《全体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉱産資源に結びついた工業が発達したことを確認する。</li> <li>・産業の中心地が、五大湖周辺から南部（サンベルト周辺やシリコンバレー）に移り変わったことを確認する。</li> <li>・主な国の研究費から、現在のアメリカの工業の特色を考察する。</li> </ul>	<p>資料「アメリカ・カナダの鉱工業地域」 ☆机間指導により、資料の読み取りの苦手な生徒へのアドバイスを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">★小グループでの交流を行い、ホワイトボードに記入する。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">★全体で調べたことを交流しあうことで学習課題を解決する。</div> <p>資料「アメリカの工業生産額の割合」 「主な国の研究費」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外からの移民が高い技術が必要とする情報産業の分野を支えていることに気付かせる。</li> </ul>
終末 10分	<p>6 まとめ</p> <p>個人でまとめを書く。 《個人》</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>アメリカの工業は、1960年代は資源と結びついた鉄鋼業や自動車工業が五大湖沿岸で発達してきた。その後、企業や大学が結びつき、研究を進めることで、航空宇宙産業や、情報技術産業が南部のサンベルト周辺やシリコンバレーで発達してきた。</p> </div> <p>7 次時にはアメリカの生活・文化が、世界の国々に与えている影響について学習することを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題について、全体交流で確認したキーワードを用いてまとめさせる。その際にわかったことや考えたことを自分のことばで記入させる。</li> </ul>

